

Our Future

夢と希望が輝く中学校へ

浜岡中学校の新校舎図鑑

vol. 4 サブアリーナ

サブアリーナは、1階昇降口から入ると中庭を挟んだ、校舎西側に配置します。西側からの採光によって明るい空間となります。

中庭側のサッシを全て開けば中庭との一体的な利用が可能となります。広さは約300平方メートルで、バレーボールコート約1面、バスケットボールコートなら半面取れる広さです。体育の授業はもちろん、学年単位の集会や部活動といった多目的な利用が可能です。

生活階である2階の廊下に面して開口部を設けることで、生徒たちが上から眺めることもでき、開放的で風通しの良いアリーナになります。

新校舎と既存体育館を2階連絡通路でつなぐことで、バリアフリーにも対応します。次回は、理科室について紹介します。



照 会 教育総務課 ☎0537-8733

Atomic

暮らしと原子力

原子力災害対策の充実に向けて
浜岡原子力発電所安全等対策協議会が国へ要請

市では、原子力発電所の重大事故などに備え、「原子力災害広域避難計画」を策定し原子力災害への対策強化・充実に取り組んでいます。この計画の実効性を高めていくためには、主要な避難路や緊急輸送路などのインフラ整備をはじめ、避難手段の確保や原子力防災対策への財政支援など、さまざまな対策が必要となります。

これらの課題は御前崎市以外も同様であり、早期解決のためには周辺市町が一体となって政府への要請を強めていく必要があります。

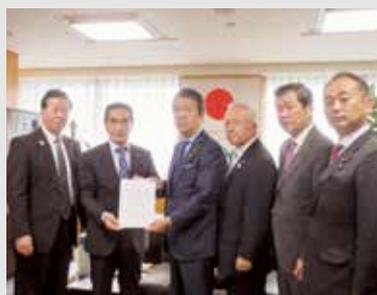
こうしたなか、本市と周辺3市で構成する浜岡原子力発電所安全等対策協議会(通称：4市対協)は10月15日、内閣府大臣と国土交通大臣に対し、原子力災害対策に関する要請書を提出しました。

この要請を受け、石原内閣

副大臣は「全力を挙げて避難計画を応援していく」、青木国土交通副大臣は「一日も早く道路と防潮堤の整備を進めなければならないと考えている」とそれぞれ話しました。



▲国土交通省への要請



▲内閣府への要請